

資料3

【認知症インタビュー結果の概要】

インタビュー結果

- 楽しいこと:** 多くの当事者が家族との会話や日常の些細な活動(テレビ鑑賞や買い物)を楽しみにしている。
- 困難なこと:** 幻視や会話が成立しないことによるストレスを感じる人もいるが、全体的には家族の支援を受けて生活に大きな困難はない。
- 参加したイベント:** デイサービスや地域のカフェ(オレンジカフェ)、歌声サロンなどを楽しんだとの報告がある。
- 認知症への感想:** 初めは受け入れ難かったが、「仕方がない」と受け入れているという声が多い
- サポート:** 主に家族からの支援を受けており、電車で他人から助けてもらった経験もうれしかったという意見がある。
- 今後の希望:** 旅行や同じ立場にいる人と交流すること、認知症について知ってもらいたいという意見がある。
- 家族へのメッセージと地域社会への期待:** 感謝の気持ちを伝えたいという声や、認知症についての理解が進むことを期待する意見がある。普通に接してくれることがありがたいとの意見もある。
- アドバイスや共有したいこと:** お互いに挨拶する大切さや、他人事ではなく自分ごととして認識することの重要性を感じている。

この調査の結果から、認知症の当事者や家族は日常のささやかな楽しみを大切にしつつ、地域社会や周囲の理解とサポートを求めていることがわかります。また、受け入れに苦悩しながらも前向きに暮らしている様子がうかがえます。